

# 災害復興支援活動情報誌 TSUNAGARI 通信 Vol.18

一般社団法人  
つながり



令和元年 8月

## 6月4日～5日に漁業支援潜水を行いました

東日本大震災で被災した漁師の方々の生活再建の原動力になっているのが、沿岸部における海産物養殖事業。南三陸町ではワカメ・ホヤ・ホタテ・カキなどの養殖が盛んで、季節毎に旬の海の幸を出荷しています。

しかし、出荷直前の養殖物を収穫する際に養殖施設に漂流物やガレキなどが絡んでしまうと収穫が難しくなり、養殖施設が破損した場合、育てた養殖物が海底に落ちて収穫出来なくなる可能性もあります。

その為、TSUNAGARI では漁師の方々から依頼があり次第、養殖施設の確認やガレキの撤去などの漁業支援潜水を震災から8年が経った現在も行っています。

今回は南三陸の漁業支援潜水に毎年来てくださる関東ダイバーチームと一緒に2日間にわたり南三陸町と気仙沼市の海域で養殖ロープに絡んだガレキの撤去などを行いました。5日の潜水作業終了後には漁師さんから漁業支援のお礼としてホヤの差し入れを頂きました。

TSUNAGARI では、今後もダイバーによる東日本大震災行方不明者潜水搜索や漁師の方々が海の幸を安心して育て収穫出来るように漁業支援潜水を行なっていきます。



1. 潜水機材のセッティング
2. 水中から回収した漂流物
3. 水中で発見される遺留品らしき物
4. 収穫されたホヤ
5. 船上でのミーティング

## 西日本豪雨から1年が経ちました

昨年7月に岡山県や広島県を中心に西日本に大きな被害を与えた西日本豪雨から1年が過ぎました。当団体では災害直後の支援活動終了後も、岡山在住のメンバーが現地の支援団体と協力し、現在も被災者支援を行っています。

8月1日には代表勝又と岡山支部メンバーで地元の支援団体“あるく”の被災者支援活動に参加し、企業から送られて来た食料や衣類の配布お手伝いから始まり、災害支援で活動したお宅への訪問を行って参りました。

豪雨から1年が経ち街並みは少しずつ復興し、家の修繕が終わり仮設から戻る人が居る一方で、修繕費が用意できず解体せざるを得ない家から引っ越しを考えなければならない現状の方が多く見られ、災害後も元の家に住みたくても住めない人の課題が見えてきました。

また、活動終了後には豪雨で被災しながらも TSUNAGARI の東日本大震災支援活動に深くご理解頂き、“恩送り支援金”として継続した寄付を頂いている“あるく”様へ感謝状の贈呈を行いました。



### 【 つながりの西日本豪雨災害支援活動実績 】

活動場所：広島県三原市・呉市、岡山県倉敷市真備町

活動期間：7月7日～12月21日（166日）

活動総件数：96件（広島43件、岡山53件）

ボランティア参加人数：4,576名（広島2,384名、岡山2,192名）

1. 物資配布の様子
2. 災害当時のままの被災住居